



福島中だより

令和 7 年 度
福島中学校学校通信
6 月 3 0 日 (月)
第 3 号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成 (3 年目)
【生徒会スローガン】日 笑 (にっしょう)

中体連大会を終えて

福島町立福島中学校長 助 川 剛

6 月も中旬を過ぎると、日差しが強くなり、湿度が上がり汗ばむようになってきました。関東以南での熱中症を報じるニュースが多くなっています。本校では、小まめに水分をとる指導、扇風機、エアコンの使用等により熱中症予防に努めております。本校から発行されている保健だより「あめのちはれ」には、熱中症対策が掲載されていますので、ご家庭での対策に参考にしていただければと思います。

6 月 7 日 (土) に渡島中体連陸上競技大会、6 月 2 1 日 (土)、2 2 日 (日)、2 8 日 (土)、2 9 日 (日) は渡島中体連各種競技大会が開催されました。

大会前に行われた壮行会で、出場する選手に期待する次の 2 つの願いを話しました。

- (1) 「やるべきことをやるべき時に」できる選手、チームになってほしい。
(試合前、試合中、試合後で何をすべきかを考え、実行できる選手)
- (2) 最後まで全力で競技してほしい。全力で最後までやり切って「自分は最後までやり切った。」という自信を持てるようになってほしい。

陸上競技、バスケットボール男子 (拠点校方式)、バスケットボール女子 (拠点校方式)、野球 (拠点校方式) のそれぞれの競技、試合を可能な限り観戦をすることができました。

本校選手たちは、天候の悪い状況、試合展開が有利でも不利でも、最後まで集中を切らさない気持ちのこもった競技姿勢でした。特に 3 年生にとっては集大成の大会。1 年生の時には、初めてのことが多く練習や試合でどこちなかつた選手たちでしたが、競技技術が上がり、気持ちの入った迫力のあるプレーでチーム、後輩を牽引している姿は立派でした。選手の競技に全力で取り組む姿は、観戦している方々に感銘を与え、壮行式で期待した願い通りの姿を体現してくれました。とてもうれしく誇りに思いました。

競技の様子や結果等は、本校ホームページ (<https://fukuchu-fukushima.jp/>) 「部活動報告」をご覧ください。

私も部活動に取り組み、教員になり部活動を指導した経験から言えることですが、中学、高校時代に、自分が何者か、何ができるかを確かめるために熱中して取り組んだものがあるのは、とても素晴らしいことです。目標 (優勝等) を達成し自分に自信を持てるようになるのは、かけがえのない経験です。しかし、目標を達成できなかつたとしても、結果を出そうとして努力したこと、大会に出場して緊張したこと、負けの悔しさや勝利の喜びを 1 0 代の多感な時期に経験できるのも、かけがえのない経験です。自分を知り、その経験をこれからの人生に生かしていくことができるからです。

中体連まで練習等で取り組んできたこと、試合を通して学んだこと、コンクールのために日々練習したこと、作品をつくるために悩んだこと。生徒の皆さんは、今、様々な貴重な経験をしていると思います。その経験を、学習や行事に生かして行ってほしいです。

保護者の皆様、頑張っているお子さんをこれからも温かく見守り、本校の取組に対して、御理解と御協力をお願いいたします。